

北社会ニュースオ76号

2011年10月16日

発行者： 鈴木壮夫

ご参加の皆さん、在京仙台二高同窓会懇談会「北社会」に関心を抱き、参加されて何年が経過されたのでしょうか。私が参加を始めたのは1988年の秋でした。その年の初夏、二年半の中国・北京駐在から帰国し、古巣の商社・鉄鋼部門に戻り、川越から赤坂に通勤始めました。みんなの服装や態度そして言葉つかいに違和感を感じました。バブルの空気に慣れてなかったのです。中間管理職として当時も問題視されていた商社の存在価値を明確にしてバカにされないよう日々努力していました。でも、これは少数派でした。私が属していた「鉄鋼部門」は保守意識が強固な業界でした。これではダメになる。心や精神が豊かになれる、前向きに生きたい、何かないだろうかと自問自答している時にフツと思いついたのが「北社会」でした。青山先輩にご連絡して新宿の住友クラブに行きました。同窓というのは“いいもんだな〜”と感じ参加を決めました。でも、商社の中間管理職、参加をご連絡していても、当日になって行けないというのが多かったと悔いております。その都度、青山先輩にご迷惑をおかけしました。そして、55才の役職定年制度で商社を辞めて、手打ちそば屋を立ち上げた13年前、青山先輩は多くの同窓の方々に素人の店を応援するようお便りをだしていただきました。北社会の絆に心から感謝して、こんな自分にもなんかできうることをあればと思っています。皆さん叱咤激励下さい。

(1988年、対ドル相場で戦後最高値を記録しましたが円はいくらだと思いませんか?)

(1) 10月17日-第293回北社会-

講師：青山史朗大先輩

テーマ： 「美術写真制作60年-名宝との出会い」

夏のご静養期間中に講演の準備をおやりいただきました。青山先輩の60年の美術関係のお仕事の中から35作品を特選して映写して、その特色や取材時の思い出を語っていただけるそうです。楽しみにしております。

(2) 来月11月以降の北社会予定

(A) 講師：平 朝彦氏 (高17回)

テーマ： 「広域液状化と闘う人々の力」 をお願いしております。

(B) 講師：日下 啓氏 (高14回)

テーマ： 「海外駐在力 成功を導くための実例」 をお願いしております。

追伸：今、10月16日、午後10時半です。昨日と今日は“国指定重要民俗無形文化財”川越まつりでした。市内、各町内から15台の山車が参加して中心部をひきまわし、賑わいます。私のそば屋の前は市役所です。その駐車場が山車の集合場所です。昨日は朝の雨でダメでしたが今日は開店から大賑わいでした。今月に入って私の休日はゼロです。でも、本日の280名のお客さま、そして35万円という今年最高の売り上げ、ビールがとてもうまい夕食でした。母校の110周年記念事業にも少しは貢献できます。